



海外拠点の取組

海外の研究拠点において、現地でしか得られない感染症情報や病原体を利用して、
「国境を超える脅威」と対峙しています。



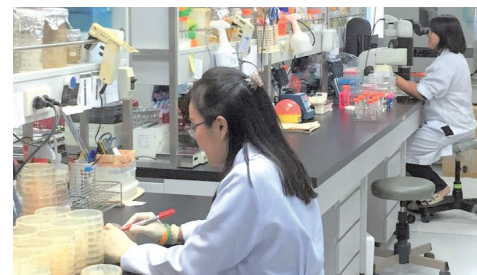
フィールド 調査

感染症の感染源や感染経路、発生時期などを調査し、
その結果を感染症対策に活用しています。



研 究

信頼関係を築いてきた現地の研究機関や研究者との密な連携を通じ、
感染症発生地から最新鋭のラボに至るまで様々な場所で研究を推進しています。



情報発信

学術的なシンポジウムから現地住民(市民)への説明会に至るまで、
様々な情報発信をしています。



J-GRID+

Japanese initiative for Global Research Network&Link on Infectious Disease



「J-GRID+」に興味・関心をお持ちの方はどうぞお気軽にお問い合わせ下さい



[問い合わせ先]



国立研究開発法人
国立国際医療研究センター
National Center for Global Health and Medicine

企画戦略局 研究医療部 研究開発連携室

〒162-8655 東京都新宿区戸山1-21-1 Tel:03-3202-7181(代表)

E-mail(事務局) k-renkei@hosp.ncgm.go.jp



国立研究開発法人
日本医療研究開発機構
Japan Agency for Medical Research and Development

新興・再興感染症研究基盤創生事業
海外拠点研究領域

海外研究拠点の展開

2005年に文部科学省が運営を開始した“新興・再興感染症研究拠点形成プログラム”を踏襲し、2015年度のAMED設立に伴い、新興・再興感染症研究における国境を越えた共同研究を強化する目的で“感染症研究国際展開戦略プログラム(J-GRID)”が開設、その発展形として、整備した各拠点をリンクさせる“J-GRID+”が誕生しました。現在までに感染症流行地であるアジア・アフリカ・南米の11カ国に海外研究拠点を整備し、その国々で流行している、あるいは流行が想定される新興・再興感染症の基礎的な研究を実施しています。現地の大学や研究機関との連携を通じて信頼関係を構築し、国内では得ることのできない感染症流行地の患者検体や臨床情報・データ等を活用する研究を推進しています。



海外研究拠点の研究内容



**【北海道大学】
ザンビア拠点**
ヒト・動物を人獣共通感染症から守るための先回り研究。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【新潟大学】
ミャンマー拠点**
アジアの空白地帯解消に向けた呼吸器感染症サーベイランスと分子疫学解析の推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【東京医科歯科大学】
ガーナ拠点**
流行地西アフリカ・ガーナにおける新興・再興感染症基盤研究の推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【大阪公立大学】
コンゴ民主共和国拠点**
網羅的病原体解析および宿主免疫応答解析による未知病病原体探索研究の推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【岡山大学】
インド拠点**
感染性下痢症における病原体のリザーバーと伝播・拡散に関する研究の推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【長崎大学】
ブラジル拠点**
ブラジルにおける新興・再興感染症制御研究の推進。
本事業における研究開始時期：
2023年11月～



**【東北大学】
フィリピン拠点**
主に小児の呼吸器感染症や下痢症の病因ウイルスとリスク因子に関する研究の推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【東京大学】
中国拠点**
中国最先端の研究機関と連携し、感染症の予防・診断・治療・疫学に資する基礎研究を推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【大阪大学】
タイ拠点**
感染性下痢症および蚊媒介性感染症の防疫・制圧に向けた基礎研究の推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【神戸大学】
インドネシア拠点**
新規病原体探索、デング熱、薬剤耐性菌、ウイルス性下痢症、COVID-19に関する研究。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～



**【長崎大学】
ベトナム拠点**
デング熱、人獣共通感染症、下痢・呼吸器感染症などの基礎・臨床疫学研究の推進。
本事業における研究開始時期：
2020年4月～